

令和元年度

事業報告書

学校法人富澤学園

## 1. 法人の概要

### (1) 建学の精神

建学の精神「敬・愛・信」に基づき、教育基本法及び学校教育法に従い、学校教育を行い、建学の精神の実現と、人間性豊かで創造的活力に溢れる人材を育成する。

### (2) 学校法人の沿革

昭和 19 年 4 月	山形城北女子商業学校と校名・学則変更
昭和 21 年 1 月	山形城北高等女学校(旧制高等女学校)と校名・学則変更
昭和 23 年 3 月	山形城北女子高等学校(新制高等学校)と校名・学則変更
昭和 23 年 4 月	山形城北女子中学校を併設
昭和 26 年 3 月	学校法人富澤学園設立認可
昭和 28 年 3 月	山形城北女子中学校を廃止
昭和 41 年 4 月	山形女子短期大学国文科開学
昭和 42 年 4 月	山形女子短期大学幼児教育科開設
昭和 42 年 4 月	山形女子短期大学附属幼稚園開園
昭和 50 年 4 月	山形女子短期大学幼児教育科定員変更
昭和 61 年 10 月	大韓民国正義女子高等学校と姉妹校協定締結
昭和 62 年 4 月	山形女子短期大学幼児教育科定員変更
昭和 62 年 4 月	山形女子短期大学英文科開設
平成元年 4 月	アメリカコロラド州 S・M・アカデミー校と姉妹校協定締結
平成 2 年 4 月	山形女子短期大学国文科、英文科臨時的定員増
平成 11 年 4 月	山形女子短期大学留学生別科開設
平成 13 年 4 月	山形女子短期大学を山形短期大学(男女共学)と校名変更
平成 13 年 4 月	山形女子短期大学附属幼稚園を山形短期大学附属幼稚園と校名変更
平成 13 年 4 月	山形短期大学人間福祉学科開設
平成 14 年 4 月	山形城北女子高等学校を山形城北高等学校(男女共学)と校名変更
平成 15 年 4 月	山形短期大学留学生別科入学定員変更
平成 16 年 4 月	山形短期大学国文科、英文科臨時的定員増終了
平成 17 年 4 月	山形短期大学国文科・英文科を改組転換、総合文化学科開設
平成 17 年 4 月	山形短期大学幼児教育科を子ども学科と学科名変更
平成 19 年 4 月	山形短期大学留学生別科入学定員変更
平成 22 年 4 月	山形短期大学子ども学科定員変更

平成 22 年 4 月 東北文教大学人間科学部子ども教育学科開設  
 平成 22 年 4 月 山形短期大学を東北文教大学短期大学部と校名変更  
 平成 22 年 4 月 山形短期大学附属幼稚園を東北文教大学附属幼稚園と校名変更  
 平成 23 年 4 月 山形城北高等学校定員変更  
 平成 27 年 4 月 東北文教大学短期大学部総合文化学科、子ども学科定員変更  
 平成 31 年 4 月 東北文教大学人間科学部子ども教育学科 3 年次編入学定員変更  
 平成 31 年 4 月 東北文教大学短期大学部総合文化学科・人間福祉学科定員変更

(3)設置する学校・学部・学科等

設置する学校	開校年月	学部・学科等
東北文教大学	平成 22 年 4 月	人間科学部子ども教育学科
東北文教大学短期大学部	昭和 41 年 4 月	総合文化学科
		子ども学科
		人間福祉学科
		留学生別科
山形城北高等学校	大正 15 年 4 月	全日制(普通科)
東北文教大学附属幼稚園	昭和 42 年 4 月	

(4)学校・学部・学科等の学生・生徒・園児数の状況(令和元年 5 月 1 日現在)

東北文教大学

区分	定員	学年	男	女	計
人間科学部 子ども教育学科	90	1 年	32	68	100
	90	2 年	23	62	85
	95	3 年	20	70	90
	100	4 年	24	64	88
合計	375	計	99	264	363

東北文教大学短期大学部

区分	定員	学年	男	女	計
総合文化学科	60	1年	17	40	57
	80	2年	15	39	54
	140	計	32	79	111
子ども学科	100	1年	2	100	102
	100	2年	3	103	106
	200	計	5	203	208
人間福祉学科	60	1年	10	23	33
	80	2年	10	23	33
	140	計	20	46	66
留学生別科	25		2	3	5
合計	465	計	59	331	390

山形城北高等学校

学年	入学定員	男	女	計	学級数
1年	420	129	175	304	10学級
2年	420	120	199	319	11学級
3年	420	119	189	308	10学級
計	1,260	368	563	931	31学級

東北文教大学付属幼稚園

総定員		男	女	計	学級数
210	3歳児	34	29	63	4
	4歳児	41	37	78	3
	5歳児	30	34	64	3
	計	105	100	205	10

(5) 役員 の 概 要 (令 和 元 年 5 月 1 日 現 在)

理 事 の 定 員 : 7 ~ 12 名

理 事 の 現 員 : 8 名

理 事 の 指 名 : 結 城 章 夫 鬼 武 一 夫 須 賀 一 好 矢 萩 新 哉 酒 井 智 子 笹 原 正 好  
長 谷 川 憲 治 阿 部 和 久

監 事 の 定 員 : 2 名

監 事 の 現 員 : 2 名

監 事 の 指 名 : 茂 木 賢 一 阿 部 恵 二

(6) 評 議 員 の 概 要 (令 和 元 年 5 月 1 日 現 在)

評 議 員 の 定 員 : 24 ~ 26 名

評 議 員 の 現 員 : 24 名

評 議 員 の 氏 名 : 結 城 章 夫 須 賀 一 好 矢 萩 新 哉 酒 井 智 子 鬼 武 一 夫 大 桃 伸 一  
熊 谷 義 隆 阿 部 敏 樹 佐 藤 之 俊 黒 木 和 弘 後 藤 裕 美 笹 原 正 好  
石 井 敏 行 片 桐 道 子 佐 藤 克 子 新 関 洋 子 長 谷 川 憲 治 佐 藤 幸 蔵  
佐 藤 榮 一 清 水 秀 裕 阿 部 和 久 千 葉 宏 宣 細 野 敏 明 武 田 公 一

(7)教職員の概要(令和元年5月1日現在)

教職員数		教員		職員	
		専任	非常勤	専任	非常勤
法人		0	0	4	0
東北文教大学人間科学部		22	51	18	6
東北文教大学 短期大学部	総合文化学科	12	23	6	3
	子ども学科	13	14	10	2
	人間福祉学科	10	13	6	2
	計	34	50	20	7
山形城北高等学校		65	22	13	4
東北文教大学附属幼稚園		17	2	9	1

## 2、主な事業の目的・計画及び進捗状況

2019年度は、2018年度から2022年度の5年間の期間とする富澤学園中長期計画の2年目であり、これまでの事業計画の進捗等を踏まえながら、中長期計画の実現に向けて、各校園・法人本部において展開した施策は次のとおりである。

また、2020年4月から施行される私学法改正に対応するため寄附行為の変更を行うとともに、課題となっている経営健全化に向けた取組の実現に向けて、新たに富澤学園第2期中長期計画を策定した。

### (1) 東北文教大学・東北文教大学短期大学部

#### ア. 共通事項

##### 【事業の目的】

本学は「敬・愛・信」という言葉で表される、『人を敬い、人を愛し、人を信じる』ことができる人間は、『人に敬われ、愛され、信じられる』人間になる」という本学園の教育理念を建学の精神とし、豊かな人間性と創造力を兼ね備え、修得した高度な知識と優れた応用力を有する、地域社会に貢献できる人材の育成を目的として事業を行っている。

##### 【事業概要】

東北文教大学及び、東北文教大学短期大学部はどこよりもあたたかい指導に基づく教育を行う大学を目指し、「きめ細かな指導」「個別指導の充実」「自他への信頼感の醸成」「学びの成果のふりかえり」等を軸として事業を行っている。

#### (ア) 教育改革・大学改革のとりくみ

本学では、建学の精神に基づき、教育改革・大学改革の取り組みを進めている。2019年度は大学の新学科設置に向けた取り組みと、短大改革に向けた取り組みを実施した。

#### (イ) 学生支援の取組み

本学では、どこよりもあたたかい指導に基づく教育を行う大学を目指し、「きめ細かな指導」「個別指導の充実」「自他への信頼感の醸成」「学びの成果のふりかえり」等を指導の軸に学生支援を行っている。

授業科目及び授業の方法や成績評価、卒業認定の基準は各学科の卒業要件や「卒業の認定に当たっての基準」などを学生が把握しやすくするため、シラバスや学生便覧等に掲載し、本学ホームページでも公開している。

障がい学生の入学状況と支援については、入学時に提出される「健康調査票」の記載から、教職員間で共通理解を得るため教授会にて報告を行った。さらに、車椅子使用学生への支援

体制について検討した。特に、緊急避難の対応として、チームで支援することとし、避難訓練の際に実践した。また、校外学習の支援としてチューター制度を導入している。

学修環境の整備のため、入学時アンケート、卒業時アンケートを実施（経年変化分析実施）し、学生満足度の把握に努めているほか、学修時間アンケート等を用いて、学生生活の実態把握に努めている。

進路支援は、2019年度の事業として、①就職に向け学生の意識を高め志望動機を明確化するため、「教員採用試験対策」「一般職」「保育専門職」「介護福祉専門職」など領域別に毎週開催している進路ガイダンスの内容について検討を行う。②例年実施している「企業研究会」「保育職就職セミナー」「福祉就職セミナー」では専門分野に特化した講師の獲得などにより、その内容を充実させるという2点をあげ、取り組みを実施した。

#### （ウ） 広報活動・学生確保の取組み

広報活動・学生確保は「定員充足率向上」と「大学ブランド力向上」を主眼とし、実施した。

オープンキャンパスは、年間5回開催（5/25、6/22、7/21、8/3・4）、高等学校訪問は、年間3回東北各県及び新潟県の高等学校207校（延べ313校）に出向き、大学広報活動を実施した。この他、高大連携事業「介護セミナー」や、高大連携事業「出張講座」、協定校との連携事業などを積極的に行った。

#### （エ） グローバル化と学生支援の取組み

グローバル化の取組みを加速し大学間連携を一層積極的に推進するため、関係教育機関（現地）調査と関係者間の協議を進めた。調査活動として、8月に中国黒竜江省伊春職業学院との交流協力、哈爾濱山形事務所との協力に関する協議、12月に韓国協定校訪問（韓国正義女子高等学校・ソウル女子大学・サイバー韓国外語大学・洪州高等学校）との交流促進に向けた協議や、連携協定締結と交流を行った。

#### （オ） 研究活動と地域連携

研究活動の成果報告として「東北文教大学・東北文教大学短期大学部紀要第10号」と、「東北文教大学・東北文教大学短期大学部教育研究第10号」を発行した。また、研究活動として、学長裁量経費認定による特別共同研究事業として、「実習指導者における効果的な実習スーパービジョンの方略に関する研究」が採択された。

この他、各種センターの地域連携活動として、連絡協議会、公開講座、公開ワークショップ、協定校との交流事業、意見交換会、研究会・研修会の実施、児童教育研究センターだよ



り『学びや』第9号発行、会報『民話』47号の発行、学生による民話のラジオ番組制作などを実施した。また、山形県の「未来に伝える山形の宝」事業「沃野が広がる南山形～氷河期から刻む2万年の歴史と恵みの里」の活動を実施している。

## イ. 東北文教大学

### (ア) 教育改革・大学改革のとりくみ

大学人間科学部では、2021年4月に人間関係を重視し、地域の課題解決に貢献できる人材の育成を目的とした新学科「人間関係学科(仮称)」を設置するため、「新学科設置準備室」を設け、設置認可申請書の作成及び、手続きを行った。また、諸規程の整備を行った。

### (イ) 学科行事と進路支援

子ども教育学科の学科行事として、へき地小規模校、都市部大規模校の観察実習、教育実習連絡協議会などを実施したほか、スクールサポーターでは、合計155名の学生を小学校等の教育現場に派遣した。

また、進路支援では、進路ガイダンスや「保育職セミナー」「企業研究会」を実施した。その結果、2019年度卒業生の就職内定率は、100%であった。

### (ウ) 広報活動・学生確保の取組み

広報活動・学生確保は「定員充足率向上」と「大学ブランド力向上」を主眼とし、実施した。

オープンキャンパスや、高等学校訪問、高大連携事業「出張講座」、協定校との連携事業などを積極的に行った結果、2020年度の収容定員充足率は、104%となった。

### (エ) グローバル化と学生支援の取組み

グローバル化の取組みを加速し大学間連携を一層積極的に推進するため、関係教育機関(現地)調査と関係者間の協議を進めている。

また、学生の語学研修等については、韓国語学研修に大学2名の学生が参加した。この他、イギリス語学研修に大学1名、韓国サイバー韓国外国語大学オンライン受講に大学3名の学生が参加した。ハワイ語学研修、アメリカ語学研修については、新型コロナウイルスの影響により、キャンセルとなった

## ウ．東北文教大学短期大学部

### (ア) 教育改革・大学改革のとりくみ

短期大学部は、2021年4月に「人間福祉学科」の学科名称を「現代福祉学科」に変更するための事前相談を行った。2020年には、学科名称変更手続きを行う。

この他、短期大学部子ども学科、人間福祉学科、留学生別科の学則別表改正、子ども学科規程の変更、諸規定の整備を行った。

### (イ) 学科行事と進路支援

短期大学部の学科行事として、総合文化学科では、インタビュー調査やフィールドワーク、卒業研究発表会、調査報告会を実施した。子ども学科では、実地体験学習や子どもフォーラムを、人間福祉学科では、ぶんきょうサロンや介護福祉フォーラム、救急法救急員養成講習会を実施した。留学生別科では、留学生課外活動、日本文化体験活動、留学生別科修了日本語発表会を実施した。

進路支援では、総合文化学科では、「企業研究会」を2日間、子ども学科では「保育職就職セミナー」、人間福祉学科では「福祉就職セミナー」などを実施した。その結果、2019年度卒業生の就職内定率は、総合文化学科 95.8%、子ども学科 100%、人間福祉学科 100%となった。

### (ウ) 広報活動・学生確保の取組み

広報活動・学生確保は「定員充足率向上」と「大学ブランド力向上」を主眼とし、実施した。

オープンキャンパスや高等学校訪問、高大連携事業「介護セミナー」や「出張講座」、協定校との連携事業などを積極的に行った結果、2020年度の収容定員充足率は、総合文化学科は83%、子ども学科は95%、人間福祉学科は56%となった。

### (エ) グローバル化と学生支援の取組み

グローバル化の取組みを加速し大学間連携を一層積極的に推進するため、関係教育機関(現地)調査と関係者間の協議を進めている

また、学生の語学研修等については、短大4名の学生が参加した。

## (2) 山形城北高等学校

### ア. 教育

重点目標である「授業改善」については、「わかりやすく理解できる授業を行う」「基本的な知識・技術を身につけさせる」「学ぶ楽しさを実感させる授業を行う」の実践に取り組んだ。具体的には、教科の壁を越えたグループを編成し、ICT 機器を活用した授業研究、公開授業を実施した。公開授業を参観できない教員のために、授業の様子をビデオカメラで記録し、YouTube に限定で公開した。また、公開授業後には参観者が感想やアドバイス等を授業者にフィードバックできるよう、Google クラウドルームを利用した。実施後はグループで振り返りを行い、それを「実践記録集」としてまとめた。教員が実際に ICT 機器に触れることで、授業改善のツールとしての可能性を見出すことができた。

2つ目の重点目標である「HR 活動の活性化」については、HR での話し合いの在り方に始まり、具体的な目標設定などクラス単位での実践が行われ、生徒一人ひとりに「自分がどう活動にかかわっていくのか」を意識させた。目的の確認・目標設定・実践・振り返りのサイクルを徹底した。また、スコラ手帳の記入とポートフォリオの入力を定期的に入れたことで、自分の変化を把握することができた生徒が出てきている。さらに、話し合いのルールや議決のしかたを学び、経験も増えてきたことで、話し合いを通してスムーズに意思決定ができるようになってきた。今後は、話し合ったことをいかに自らの行動に結びつけ、さらに修正を加えられるよう、より実践的な取組の仕掛けや工夫が必要と考えている。

### イ. 入学者受け入れ

令和2年度入試においては、募集定員を特進科40名、進学教養コース140名、幼教福祉コース80名、スポーツ総合コース80名の合計340名と変更した。それに対して、入学者は特進科25名、進学教養コース151名、幼教福祉コース66名、スポーツ総合コース63名の合計305名とほぼ例年通りであった。併願受験者の一次手続き金を廃止したことにより、併願受験者740名と前年に比べて大幅に増加したが、入学手続き者の割合が見込んでいた数値より低かったため、併願入学者は60名にとどまった。一般入試による学業奨学生候補者の人数が大幅に増加したことからもわかる通り、多くの成績優秀者に受験してもらうことができた。

### ウ. 生徒指導

部活動においては、全国高等学校総合体育大会へ6部、国民体育大会へ10名の生徒が出場を果たした。また、ダンス部が初めて全国大会に出場した。ボランティア活動では、吹奏楽部が、老人ホームでの慰問演奏や近隣保育園での演奏、小学生への演奏指導など、幅広い年齢の方との交流を深めながら、地道に地域への貢献活動を行っている。他にも、JRC部が老人ホームでの清掃ボランティアや祭りの運営補助にあたるなど、生徒が社会へ目を向ける姿勢は着実に育まれている。こういった運動部・文化部の活動は、「座学」だ

けでは得られない「生きた学び」に取り組むことのできる場として、生徒の自主性や社会性を醸成する一助となっている。

学校行事では、各種委員会を中心に、生徒自らの手で、企画・準備・運営・振り返りを行うことで、生徒の自主性を育む機会となった。クラスマッチでは、クラス・コース・学年といったさまざまな枠組みの中で、仲間を励まし応援する態度、自分のすべきことに全力で取り組む姿勢が培われた。文化祭である「城北祭」では、外部の方をもてなす心、そのために相手の立場になり考える姿勢、よりよい企画へ向けた創意工夫をする姿勢が見られた。一例に、スポーツ総合コースのクラス（男子のみ）が幼児を対象とした「手作り紙芝居」を企画するなど、これまでに見られなかった新たな企画もあり、生徒たちの視野の広がりや工夫が形となって表れた行事となり、結果として生徒の協調性・協働性を育む貴重な機会となっている。

## エ. 進路指導

令和元年度卒業生305名の進路別人数は、大学進学99名（うち、国公立10名）、短期大学51名（うち、国公立1名）、専門・各種学校85名、就職60名、その他10名であった。本校の進路指導は、3年間の進路指導計画のもと、自らの将来の在り方を考えさせ、一人ひとりにあった進路選択と達成ができるように、段階的・計画的に指導している。また、学年ごとに目標を設定し、1年生から年間3回の進路希望調査を実施し、それをもとに担任が一人ひとりと面談し、それぞれに合わせた課題の確認や進路についてのアドバイスを行っている。また、生徒の可能性を伸ばし、選択の幅を広げるために、外部講師による進路を考える講演会を行っている。さらに、2年前からは、進路についての取り組みや取得資格についてe-ポートフォリオの作成を通じて、生徒各自の振り返りを進めている。これらの取り組みによって、生徒一人ひとりが進路について真剣に向き合う環境が整備されつつある。

また、進路達成のために次のようなサポートを実施している。進学希望者については、AO入試ガイダンス、進路ガイダンス、さらに放課後や長期休暇中の進学講習を実施し、多様な進路希望に対応できる受験学力の伸長を図っている。一方、就職希望者に向けては、職業体験（2年次）、就職ガイダンス、外部講師による就職指導などを実施し、早期内定を目指して取り組んでいる。加えて保護者には、保護者進路説明会や『進路だより』を発行し、最新の進路情報を提供している。こうした生徒、保護者への丁寧なサポートにより、生徒にとって多様な進路選択が可能になり、その実現に向けて保護者の理解と協力が得られている。

#### オ. 国際交流・異文化理解活動

異文化の理解と尊重、国境を越えた人と人との結びつきの大切さを学ぶ目的で、姉妹校交流親善訪問（大韓民国ソウルの正義女子高等学校）を実施している。全校生から希望者を募り、8月21日から25日の4泊5日の日程で親善訪問を実施した。参加生徒は18名（3年生5名、2年生9名、1年生4名）であった。姉妹校では、授業体験、生徒会代表者との意見交換、歓迎公演のほか、韓国の歴史的建造物や最先端の技術を見聞した。この体験を通して、姉妹校の生徒への理解のみならず、近くて遠い国と言われている韓国の長い歴史と現代社会への理解を深めた。また、姉妹校生徒宅へのホームステイ（一泊）では、より深く個と個とでつながることで、相互の文化への理解と尊重といった国の違いを超えた深い交流を行うことができた。2月には正義女子高等学校からの日本文化体験団を受け入れる計画であったが、新型コロナウイルス感染症の拡大のため、残念ながら中止となった。

#### カ. 安全教育

社会の変化により、生徒を取り巻く生活環境は大きく変化し、生活習慣病やスマホ依存、いじめ、不登校など健康全般に関する課題に適切に対応することが求められており、本校では、生徒一人ひとりの自己肯定感を高めながら、自己管理能力の養成と教育相談の充実により心身の健康保持に努めている。具体的な支援として、カウンセラー（常勤1名、非常勤2名）が課題を持つ生徒の担任へのコンサルテーション、生徒・保護者へのカウンセリングを通して、課題克服の支援を行っている。

また、部活動等における事故の未然防止、事故等発生時における的確な対応など、日頃より安全教育の取組を推進している。

### (3) 東北文教大学付属幼稚園

#### ア. 教育・保育

教育目標「健康で心豊かな意欲あふれる子ども」の育成を目指し、保育者間で研修を重ねながら保育を行ってきた。12月6日には「日本乳幼児学会」が大学で開催され、その一環として本園も公開保育を開催した。多くの参会者から、子どもたちの充実した遊びの内容に、賛辞をいただいた。

3大行事の見直しを行い、創立記念日の内容を大幅に変更した。幼稚園の誕生日を各年次の歌でお祝いし、ミニコンサートを鑑賞したが概ね好評であった。子どもの遊びが充実する10月にたっぷり遊び込めたことで、例年ない遊びの広がり、深まりが見られた。

次年度から手作りの温かい給食を提供できるよう、給食の厨房施設を増設した。子どもの食事について関心の高い栄養士と調理師を人選し、共に厨房施設の設計・施工に携わってもらったことで、細部にわたって検討することができた。スタートからスムーズにおいしい給食が提供できるよう、上山あい保育園、河北あい保育園での研修を実施した。

#### イ. 保護者との連携協力

一人一人の子どもの遊びや成長の様子が保護者に伝わるように、月1回程度、連絡帳に子どもの遊びの様子を写真で貼り、コメントを添えて渡すようにした。普段見られない子どもの豊かな表情にすべての保護者が喜び、これまで以上に返事をたくさん書いてくれるようになった。保育者との信頼関係も非常に深まった。

保育参観を普段の子どもの遊びをそのまま見ていただくことにした。遊びを遮らないようにというお願いもしっかり守り、温かい眼差しで子どもを参観していただいた。子どもの日常の姿を参観することで、大変好評であった。

#### ウ. 地域との連携

次年度の園児募集にもつながる「ちびっこ広場」は、計9回開催した。山形市内や上山市内から、乳幼児も含めて毎回70組を超える方が集まり、手遊びや歌、ダンスやミニ制作を楽しんだ。

近隣のみはらしの丘小学校の1年生と本園年長児がみはらしの丘小学校で交流会を実施した。1年生が招待してくれる形で、工夫を凝らして説明してくれるので、小学校に興味を持ち早く行きたいという気持ちを育むとても良い機会となった。

#### (4) 管理運営（法人本部）

##### ア. 組織運営

学園のガバナンス強化と理事会機能充実のため、理事会を毎月開催して案件審議の迅速化を図り、法人と設置学校等との連携強化に取り組んだ。併せてペーパーレス化実現のため情報関連機器の整備を行った。

また、2020年4月から施行される働き方改革関連法に対応するため、就業規則を抜本的に見直すとともに規程等の改正を行った。

人事・組織体制に関しては、組織内チェック体制を充実するため内部監査室を新たに設けたことに加えて、組織の活性化と職務能力向上のために、各校園間の人事交流を積極的に行った。

##### イ. 財務基盤

教育研究活動の充実と経営健全化に向けて現状分析と課題整理を行い、2019年度は経常経費の縮減等の取り組みを積極的に行った。また、各校園の権限と責任の明確化を図るため予算権限の一部を各校園に委ねるなど、事業執行の抜本的な見直しを行った。

私学法改正に対応し、教育事業の基盤である財務状況改善のために、新たに2020年度を初年度とする富澤学園第2期中長期計画を策定した。特に、財務状況改善の取組みが急務であることから、2020年度から財務基盤充実のための取組を実施するため、中長期計画の中に経営健全化緊急対策として位置づけ、実施することとした。

#### (5) 教育環境（施設・設備）の整備状況

新たな取り組みとして、2020年度から実施する附属幼稚園給食事業に対応するため、園舎の改造とともに調理施設及び什器等の設備を整備した。

山形城北高等学校においては、コンクリートブロック塀の改修の他に、3号館の教室用途変更に伴う改修や外部階段の改修、屋上防水工事等を実施した。また、学校内における生徒安全対策として防犯カメラの設置を行った。

東北文教大学は、3号館及び6号館の給水設備修繕を行ったほか、附属図書館の利用について学修環境の利便性向上のため図書館システムの機器更新及びソフトウェアの更新を行った。